

養殖部

海綿養殖試験

已往ノ經過

本試験ハ大正十年度開始以來大正十二年度迄ハ場所ノ選定及植付材料ニ付試験ヲ行ヒ取付用針金ハアルミ
 ウム線最モ適スコトヲ認メ得タリ 大正十三年度ヨリ養殖係欠員ノタメ一時中止ノ状態ニアリタルモ大正
 五年度助成費ノ交付ヲ受ケタル以來專任職員ノ設置ヲ見ル至リ本試験ヲ繼續施行シ得ルニ至レリ
 前年迄ハ冬季極寒ノ候ニ操業セシタメ作業拂ラズ多クノ經費ヲ要シタリシモ昭和二年度ヨリ經費節減ノ意
 ヨリ夏季操業セシニ仕事ハ倍以上進捗シ投入海綿ヲ見ルモ何等異狀ナク發育シ夏季操業ノ有利ナルヲ認メ
 タリ爾來品質改良並ニ増殖法ニ就キ試験研究ヲナシ植付用盤ニ三角型盤ヲ製作試験シタルニ丸型盤ニ比シ
 良品ヲ得ラル、コトヲ認メタルニ依リ其後引續キ使用シ來レリ

助成費設置以來海綿植付投入數量左表ノ如シ

年 度 別	投 入 月 日	投 入 場 所	投 入 數 量	試 驗 經 費	備 考
大正十五年度	昭和二年三月	久米島	丸型盤 九、五個 三角盤 八、五個	三三、〇〇〇 円 三九、〇〇〇	丸型盤ハ一個三角盤ハ一個ニ付海綿種三個宛 結付投入スルモノナリ
全	全	宮古			

昭和二年度	昭和二年九月	久米島	二、〇五〇	六、九〇〇	三、三七、〇〇〇
全	昭和二年十一月	宮古	五三〇	二、六二五	四六、八〇〇
昭和三年度	昭和三年五月	全	四、四〇〇	六〇	三六、二九〇
全	昭和三年十一月	久米島	一、三〇〇	八〇〇	二〇八、三三〇
全	昭和四年三月	全	一、五二二	一、七、〇五〇	一、七、〇五〇
全	昭和四年七月	宮古	一、八三三	二、三三三	三二七、五〇〇
昭和四年度	昭和四年七月	全	二、三三三	二、三三三	二九六、五〇〇

本年度モ左記ノ通試験施行セリ

一、試験期日及場所

自七月十五日至七月二十三日

宮古郡平良町松原地先

一、試験方法

本年度ハ前年同様ノ方法ヲ以テセメント大樽二十挺ニテ三角盤三千五十四個ヲ製作セリ而シテ一晝夜放置乾燥後満潮時ヲ見計ヒ列舟又ハ傳馬船ニテ試験地ニ運搬セリ

海綿養殖ニ對スル一般作業方法ハ前年ト同様ナリ唯ダ種苗トシテ植付クルモノハ溝系ノアル大ナルモノ程成長宜シキヲ以テ各々四纏立方以上ニ切斷シ植付投入ス

二、投入場所及投入數量

A 点	五三六個	(別紙圖面ノ通)
B 点	七五一個	(全)
C 点	一八五個	(全)
D 点	四九三個	(全)

計

二、三六五個

(海綿附着數七、〇九五個)

一、試驗成績

昭和四年三月松原地先及久米島鳥島地先ノ二ヶ所ニ投入セシモノハ何レモ良ク盤ニ密着シ黑色ノ表皮ヲリ切斷面モ癒着シ丸味ヲ有セリ昭和二年三月投入セルモノハ高サ五纏徑八纏(底部)位ニ成長セルモ前者驗地ノモノハ扁平ナルモノ多シ尙本年度三月鳥島地先ヨリ七七〇個ヲ漂泊ノ上試賣スベク取上ゲタリ

一、三角型盤及丸型コンクリート盤ノ優劣

三角型「コンクリート」盤

- 一、作製上比較的手數ヲ要シ多クノセメント要ス
- 二、盤厚キヲ以テアルミニウム線ノ長キモノヲ要ス
- 三、運搬取扱上不便ニシテ毀損シ易シ
- 四、荒波ノ場合反轉又ハ砂泥ニ埋没スル事少ナシ
- 五、植付海綿ノ枯死又ハ離脱セル時再植付手入上不便
- 六、砂泥ニ蔽ハル、コト比較的少キヲ以テ丸型ニ比シ發育良好ナルガ如シ

丸型「コンクリート」盤

- 一、作製容易ニシテ製作數量モ多シ
- 二、盤薄キヲ以テアルミニウム線ノ使用量モ少ナシ
- 三、運搬上毀損コト少ナク便利ナリ
- 四、反轉シ易ク又埋没スルノ欠点アリ
- 五、再植付上便利ナリ
- 六、前者ヨリ發育不良ナル如シ

一、養殖地ニ適スル條件

養殖ニ適當ナル所ヲ選定スルハ必要ナル第一條件ニシテ本縣沿岸ニ於ケル各地海綿ノ棲息狀態及之迄ノ試驗成績ノ結果ヨリ考察シ其ノ必要條件ト認ムルモノヲ舉グルト次ノ如シ

- (一) 内灣ニシテ外海波浪ノ影響ヲ蒙ルコトナキ靜穩ナル所
- (二) 干潮時三米以内半米以上ノ水深ニシテ最モ適當ナル水深ハ干潮時一米半内外ノ所トス
- (三) 海底ハ砂泥質ニシテ小石礫岩鱗片アル所ニシテ海藻ノ繁茂著シキ所ハ不適當ナリ
- (四) 潮流ノ疏通宜シキ所ニシテ海水清澄且微生物ノ繁殖ノ良好ナル所
- (五) 水溫比重ハ余リ著シク低下セザルヲ良シトスコレハ今後充分ナル調査ニ依ラザレバ斷定シ難シ
- (六) 沿岸漁業ト關係少ナキ所ニシテ盜難ニカリラザル所

養殖海綿ニ對スル評價

宮古郡平良町松原地先ニ於テ養殖セシ海綿ハ三ケ年ニシテ販賣シ得ル程度ニ發育シテ成長度ニ於テハ成績好ナルモ其ノ發生狀態ヲ見ルニ大部分ガ平面的ニ發育シ生體ハ凡テ扁平ニシテ不規則ナリ彈力性少ク且内層部共ニ粗ニシテ肉質ノ脆弱ナルコト甚シキヲ以テ品質形態共ニ不良ニシテ海綿質トシテハ價值甚ダ少キモト認ム

島尻郡具志川村島島地先ノモノヲ見ルニ前者ト發生狀態形態共ニ甚ダシク相違シ先ヅ發育ニ於テハ立体的規則的ニ成長シ形態ハ球形ヲ呈シテ彈力性ヲ有シ肉質甚ダ密ナリ品質形態共ニ佳良ニシテ價值アルモノト認ム

一、漂白試驗

材料

宮古郡平良町松原地先ヨリ取揚グタル海綿ニシテ大正十一・二年度ニ投入セルモノナリ其ノ數三八八個並日海濱ノ砂中ニ埋メ腐敗セル有機物質ヲ洗滌シ乾燥セルモノナリ

方法

最初右海綿ニヨリ水洗シ之レヲ豫メ準備セル五%ノ鹽酸ニ十分間浸漬シ後取上ゲテ水ニテ洗ヒソレヨリ五%ノ過マンガン酸カリ液ニ浸漬シ紫黑色ヲ呈セバ引揚グ水洗ノ後一〇%ノ醋酸液ニ浸漬シ脱色ヲ行ヒ水洗ヒ後十%ノ洗濯曹達液ニ浸漬シ彈力ヲ増スト同時ニ淡黄色ヲ呈スルニ付最後ノ水洗ヲナシ工程ヲ終ルモノナリ右ノ結果ヲ見ルニ美麗ナル淡黄色ヲ呈スレドモ其ノ質脆弱ニシテ使用シ得ルモノ少シ之レ藥品並ニ漬漬時間ノ長短ニ依ルモノト思ハル依テ藥品及浸漬時間ヲ加減シ試験セシガ元々品質不良ノ爲メカ好結果ヲ

得ズ猶漂白方法ニ付テハ充分研究ノ余地アリ島尻郡具志川村島島地先ノモノハ品質形狀共宜シキ様ナレバ之レヲ以テ試験研究セントス

試験場所ニ於ケル水溫比重

日	時	天候	雲量	風向	風力	氣溫	水溫	比重(換算)	摘	要
七月十五日	午後一時	晴	三	南	四	二九、九	三、七	二四、四二	水溫比重ハ表面ノミ測定セリ	
全日	午後六時	曇	八	南東	三	二八、〇	二九、〇	二四、四〇		
七月廿一日	零時半	晴	六	西	三	三一、五	三一、一	二四、〇〇		
全日	午後五時	全	一	西	三	二六、五	三〇、〇	二四、〇〇		
七月廿二日	午前八時半	全	三	南	二	三〇、〇	二九、〇	二三、六九		
全日	午後三時	全	二	全	二	三一、五	三三、〇	二四、〇〇		
全日	午前八時	全	四	南東	二	三〇、〇	二九、五	二四、二三		
全日	午後二時	曇	六	全	三	三〇、〇	三三、〇	二四、〇〇		

麒麟菜養殖試験

試験ノ目的

本縣ニ於ケル有用海藻類トシテハ麒麟菜海人草等ニシテ年産額合セテ二万二千八百余圓ニシテ其ノ中麒麟菜